

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として利用者満足を追求する
 - 1) 利用者満足の基本として、接遇（態度・服装・言葉使い等）を振り返り、あるべき接遇態度についてそれぞれの現場で検討し、改善につなげる。
 - 2) ルールに基づく基盤を固め、確認の仕組みをつくる、そのうえで根拠のあるサービス提供に努める。
 - 3) 専門職（介護・看護・訓練・栄養・相談・事務）としてのサービス向上・チームケアの実践として、1部署1つ以上の課題に取り組む。
（例：口腔ケア、リハビリ、看取り、認知症ケア、世帯支援の実践、相談技術等）
2. 社会福祉法人として家族支援のための地域の拠点となる
 - 1) 特養を中心とした施設機能を背景に、あんしんセンターが総合的な窓口となり、居宅介護支援事業、サービス提供部門（訪問介護、定期巡回、通所介護）の連携により、地域の拠点としての役割を追求する。
 - 2) かがやきプラザ相談センターとあんしんセンターの役割明確化は、地域の拠点としての機能の基盤となる。かがやきプラザ相談センターとの連携をさらに強化していく。
 - 3) かんだ連雀を拠点とした地域向けのボランティアグループ育成のため、すみれ会活動にさらに取り組んでいく。
3. 社会福祉法人を担う職員の育成・定着・働きやすい職場作り
職員体制の安定化に向けて
 - 1) 業務の見直し（効率化、重複を整理、超勤の減少）
 - 2) 人材確保の新たな仕組み作り
 - 3) 腰痛対策（労働安全衛生委員会の取り組み、福祉用具導入検討）
 - 4) 心のケア、ストレスチェック
4. 社会福祉法人としての組織力の強化
 - 1) 予算決算の仕組みの理解と、稼働率等目標の達成による収入増、適正配置と経費節減による支出減に取り組む。
 - 2) 法人事業計画を受け、内部管理体制の充実に努める。

施設の取組

1. 省エネをキーワードとした建物改修・設備整備への取り組み（空調更新他）
2. あんしんセンター事務室の移設
3. 人材確保のための子育て支援事業の開始